

## 議事3 「安来市立幼児教育・保育施設のあり方」に関する職員アンケート

## 1. 目的

安来市公立幼児教育・保育施設のあり方検討委員会において、安来市立幼児教育・保育施設の再編に関する審議を行うにあたり、公立保育施設に勤務する職員の声を把握し議論を深めるため、幼児教育及び保育施設の職員に対してアンケート調査を実施する。

## 2. 調査概要

## (1)調査対象

## ■対象職員

正規職員、会計年度任用職員(フルタイム)、任期付園長、再雇用職員

※産前産後休暇、育児休業中の職員も対象とする。

※会計年度任用職員(パート、日々雇用職員)は対象としない。

※子ども未来課(通級指導教室、地域子育て支援センターどじょっこの職員を含む)、いきいき健康課、給食教育課、介護保険課に所属する職員も対象とする。

## ■対象者 114人

保育士・幼稚園教諭57人、調理職員16人、子ども未来課 2 人、いきいき健康課 3 人、給食管理課 2 人、幼児通級教室3人、介護保険課 1 人、地域子育て支援センターどじょっこ 3 人、会計年度任用職員(フルタイム)27 人

## (2)実施期間

令和8年9月上旬から9月中旬(約2週間)

## (3)実施方法

- ・しまね電子サービスで WEB アンケートを実施。(子ども未来課から庁内メッセージで通知する)
- ・しまね電子サービスでのアンケートが難しい場合は、紙でのアンケートを配布する。その際は園から配布・回収で実施する。
- ・回答は無記名とし、外部から特定できないように公表する
- ・回答は任意とする。

## (4)アンケート結果

- ・庁内メッセージで共有する。

## 安来市幼児教育・保育施設の今後のあり方に関する職員アンケートのお願い

職員の皆様におかれましては、日々の幼児教育及び保育業務および施設運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

現在、市では、将来にわたって子どもたちが健やかに育つ環境を整備するため、公立幼児教育・保育施設の再編の検討を進めております。これに伴い、現場を支える職員の皆様の率直なご意見をお伺いするアンケートを実施いたします。

皆様からいただく回答は、今後の具体的な再編計画や、職員の皆様がより働きやすい環境を整備するための重要な資料情報として活用させていただきます。

なお、本アンケートは匿名で集計され、回答内容によって個人の評価や処遇に不利益となることは一切ございません。お忙しい中恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

安来市幼児教育・保育施設のあり方検討委員会

委員長 余村 望

回答期限：~~2026~~令和8年【〇月〇日（金）】まで

所要時間：約【5～10】分程度

【基本情報】（2項目）

Q1. 現在、勤務している幼児教育・保育施設名を選択してください。

選択肢：[12 の施設名・課名を提示]

Q2. 年齢を選択してください。

- ①20代  
②30代  
③40代  
④50代  
⑤60代

Q3. 職種等を選択してください。(1つに○)

- ①保育士・幼稚園教諭(任期付園長)  
②調理職員師・管理栄養士・栄養士  
③会計年度任用職員(フルタイム)

Q4. 業務の中で、特に負担が大きいと感じるものを**選択**してください。(3つまで○)

【保育士・幼稚園教諭】【会計年度任用職員（フルタイム）】

- ① 日常の保育（子どもへの対応）
- ② 指導案・日誌などの書類作成
- ③ 行事の企画・準備・運営
- ④ 保護者対応（面談、クレーム対応等）
- ⑤ 園内の清掃・消毒・環境整備
- ⑥ その他（自由記述： ）

【調理職員師・管理栄養士・栄養士】

- ① 給食の提供（調理業務）
- ② 献立・発注などの書類作成
- ③ 食育活動・食育計画
- ④ 給食以外の園内業務
- ⑤ 保護者対応
- ⑥ 調理室内の清掃・消毒・環境整備
- ⑦ その他（自由記述：                      ）

## 【保育ニーズの変化・現場の課題】

Q5. ここ数年で、子ども・保護者の変化や少子化などで保育や給食提供などの難しさを感じるがありますか。(1つに○)

- ① 非常に感じる
- ② ときどき感じる
- ③ あまり感じない
- ④ まったく感じない
- ⑤ わからない

Q6. Q5で「非常に感じる」「ときどき感じる」と答えた方に伺います。具体的にどのような点に難しさを感じますか。(複数選択可)

- ① 発達が気になる子、特別な支援が必要な子の増加
- ② 外国籍の子どもや、日本語でのコミュニケーションが難しい保護者の増加
- ③ アレルギー対応や医療的ケア児など、専門的な安全管理の必要性
- ④ 保護者からの過度な要求(クレームなど)への対応負担
- ⑤ 少子化による園児数の減少や、クラス編成の難しさ
- ⑥ その他(自由記述: )

【少子化と現状の課題感】

Q7. 現在の園児数の減少(またはクラスの小規模化)により、保育運営上で課題に感じていることはありますか。(複数選択可)

- ① 行事(運動会や発表会など)の規模縮小や盛り上げりに欠ける
- ② 同年齢の友だちが少なく、集団行動や社会性を育みにくい
- ③ 職員数が減り、一人あたりの業務負担やシフト調整が厳しい
- ④ クラス編成(異年齢保育など)の工夫が必要になり、現場の負担が増えた
- ⑤ 特に課題は感じていない
- ⑥ その他(自由記述: )

Q8. 現在の園舎・施設・設備について、老朽化や不便さを感じますか。(1つに○)

- ① 非常に感じる(早急な建て替えや移転が必要)
- ② やや感じる(修繕は必要だが、まだ使える)
- ③ あまり感じない(現状で問題ない)
- ④ まったく感じない(快適である)
- ⑤ その他(自由記述: )

Q9. 一般的に子どもにとって「集団としての適切な規模」は、1学年(同年齢)あたり何人程度が必要だと思いますか。(1つに○)

- ① 5人未満
- ② 5人～10人程度

- ③ 11人～20人程度
- ④ 21人以上
- ⑤ 特にない・わからない

Q10. 子どもにとって、~~園全体として~~まで園児は、何人ぐらい必要だと思いますか。(1つに○)

(園の全体の適正人数)

- ① 10人以下
- ② 10人～20人未満
- ③ 20人～40人未満
- ④ 40人～60人未満
- ⑤ 60人～80人未満
- ⑥ 80人以上
- ⑦ 多いほどよい
- ⑧ 特にない、わからない

【再編(統合・集約)に関する意見】(7項目)

Q11. 園児数の減少に~~おき~~より、園の再編統合も検討していかなければなりません。あな~~た~~は幼児教育及び保育施設の再編統合についてどうお考えですか。(1つに○)

- ① 賛成
- ② どちらかといえば賛成
- ③ どちらでもよい
- ④ 反対
- ⑤ どちらかといえば反対
- ⑥ わからない

Q12. 上記 Q11. で「賛成、どちらかといえば賛成」を選んだ方にお聞きお尋ねいたします。  
再編統合する場合に期待することを選択してください。(3つまで○)

- ① ~~子どもたち~~に友達が増え、励まし合ったり、競ったりすることでよりよい成長が期待できる。
- ② 希望する幼児教育・保育施設に入所しやすくなる。
- ③ 保育環境(職員配置等)が整い、子どもたちの生活環境がよくなる。
- ④ ~~保育士が増え~~、予算が集中することで、効率のよい幼児教育・保育施設の運営が期待できる。
- ⑤ 幼児教育・保育施設の施設整備が進み、快適な保育環境及び地震などの災害においても安心・安全が期待できる。

- ⑥ 催事（イベントや行事）に多くの方が参加し、~~幼児教育・保育施設~~に活気が出てくる。
- ⑦ その他（ ）

Q13-1 上記 Q11 で「賛成、どちらかといえば賛成」を選んだ方にお尋ねします。公立の再編統合はどのような形の再編統合がよいですか。（2 つまで○）

- ① 子どもが成長できる環境を重視した再編統合
- ② 幼児教育・保育施設の規模を重視した再編統合
- ③ 保護者の利便性や地域意向を踏まえた再編統合
- ④ 小学校への接続を見越しそこに配慮した再編統合
- ⑤ 施設の安全性・立地を重視した再編統合
- ⑥ その他（ ）

※ 現時点では、どの園を再編統合するかなど一切決まっておりません。

Q13-2 上記 Q11 で「反対、どちらかといえば反対」を選んだ方にお尋ねいたします。なぜ、再編統合しない方がよいとお考えですか。（3 つまで○）

- ① 住み慣れた地域の幼児教育・保育施設がなくなる可能性がある。
- ② 幼児教育・保育施設が遠くなる可能性がある。（送迎の負担が増える）
- ③ 伯太や広瀬などの中山間地域の保育体制がなくなる可能性がある。
- ④ 地域が広域となり、地域との密着性が薄れる。
- ⑤ 保育環境の変化による子どもたちへの影響がある。
- ⑥ 新しい環境になることに不安がある。
- ⑦ 園の規模(児童数)が大きくなり、目が行き届かなくなる不安がある。
- ⑧ 園舎、先生、お友だち環境が代々変わること、子どもたちに負担がかかる。
- ⑨ 保護者会などの活動に不安がある。
- ⑩ その他（ ）

Q14. 施設の再編統合により「職員が集約され、手厚い保育、調理ができる」場合、~~統合~~再編に賛成ですか？（1 つに○）

- ① 賛成
- ② 条件付きで賛成(条件： )
- ③ 反対
- ④ わからない

Q15. 再編統合を進める際、行政が「最も重視すべき基準」は何だと思えますか。（1 つに○）

- ① 子どもの育ち（集団の規模、多様な人間関係の経験）



- ⑦異なる園同士の再編統合により、これまでの保育方針や園風のすり合わせに苦勞する
- ⑧登降園時の送迎対応などの周辺業務量が増える
- ⑨デメリットは特にない
- ⑩その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

Q19. 再編統合を進めるにあたり、公立園が「担う機能・役割」は何だと思われますか。（3つまで選択）

- ①特別な支援が必要な子ども（障がい児保育・医療的ケア児など）の積極的な受け入れ
- ②外国籍、経済的困窮、虐待リスクなど、配慮が必要な家庭（要保護児童）へのセーフティネット
- ③地域の民間保育施設に対する、保育技術や専門知識の共有・研修の場（地域の核としての役割）の確保
- ④一時預かりや子育て相談など、在宅育児家庭も含めた地域全体の子育て支援の拠点
- ⑤災害時における避難所への指定や、緊急時の子どもの安全確保・受け入れ体制の維持
- ⑥自治体の方針（子育て政策）をいち早く現場に反映し、実践・検証するモデル園としての役割
- ⑦私立園の撤退や定員割れに左右されず、地域に必要な保育枠を安定的に確保し続けること
- ⑧地域の伝統行事や世代間交流など、地域コミュニティと子どもたちをつなぐ役割
- ⑨その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

Q20 再編を進める際、現場の業務や子どもの環境変化を考慮すると、施設の方針決定（R9.3月を予定）から再編までにどの程度の準備期間が必要だと思われますか。

- ① 1年未満～1年程度
- ② 2年程度（※1年を超え2年まで）
- ③ 3～4年程度
- ④ 5年以上
- ⑤ それ以上の長期（具体的な年数\_\_\_\_\_）

【自由記述】

Q21. 公立幼稚園・保育施設の再編統合や今後のあり方について、これまでの経験を踏まえた懸念、具体的な提案、要望などがあれば自由にご記入ください。